

ばんどう まちづくり

坂東市長 吉原英一



市民の皆さんの 安全安心を第一に

東日本大震災から二年が経過しました。被災された皆様に心からお見舞申しあげます。震災では、住民の皆さんの避難活動などにあたられていた消防職員・消防団員の皆さんが、岩手県・宮城県・福島県の3県で、死者212人、行方不明64人の被害があったと聞いております。あらためまして哀悼の意を表する次第です。住民の安全のために活動された消防職員・消防団員の被害は本当に残念です。市では、3月2日に消防

団の春季点検式が開催されました。当日は直立不動が難しいほどの春の嵐でしたが、姿勢や服装、車両の点検などがきびきびと行われ、頼もしさを感じました。

東日本大震災を教訓として、市民の皆さんの安全安心のための取り組みを進めています。市内の各種団体の皆さんと防災支援連絡会議を設立し、構成団体それぞれが協力し合つていく体制を整備するとともに、市内事業者の皆さんと防災協定を締結しました。また、平成23年度に北茨城市・河内町と、2月19日には県西地区11市町と相互応援協定を締結し、災害発生時の対応の強化に努めてきました。市内で最も懸念されるのは利根川が決壊したときの災害です。2月10日には、群馬大学の片田教授をお招きして、利根川が決壊したときにどうすればいいかを考える講演会を開催しまし

た。片田先生は、早めに安全な場所に避難することを強調していました。3月11日には、区長さんや議員さん、消防団、交通安全協会、交通安全母の会、市職員などが協働して「標高」を示したステッカーを貼りました。標高10m以下は13mのところは危険区域として「赤」、14m・15mは注意区域として「黄」、16m以上は避難受入区域で「青」と色分けしています。利根川などが決壊した場合に浸水が予想される、飯島、神大実七郷、中川、長須の幹線道路沿い150か所の電柱に貼つてあります。ご自宅の状況や、避難場所までの経路などを検討してみてください。次回には岩井市街地や猿島地域の西仁連川流域で実施します。

今後も安全安心なまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

子どもたちの安全・安心のために

通学路の整備を

進めています

岩井第一小学校 岩井中学校



にアピールを行い、通学児童・生徒の交通事故の防止を目的としています。

市では各小・中学校区で調査を進め、順次整備を進めていきます。児童・生徒が安心して通学できるよう、車の運転時には安全運転をお願いします。市民の皆様のご協力をお願いいたします。

市では通学路危険箇所調査・整備を進めています。登下校の安全確保のため、このほどは岩井第一小学校南側の道路および岩井中学校西側の道路に、グリーンベルト(緑色の歩道帯)を整備しました。グリーンベルトは緑色のラインを引くことでドライバー

